

# 北地区地域づくり協議会 活動報告

北地区地域づくり協議会

2025 Fiscal Year Review

これまでの経験を生かし、地域の方々と…



## 馬場 博典 (Hironori Baba)

北地区地域づくり協議会 事務局 集落支援員

・北地区在住・就任2年目

### 専門性 (Expertise)

長年観光事業に携わり、交流人口促進の観点から観光庁が進める『観光地域づくり法人』の設立に関与、マーケティングなど担当。

観光と地域づくりの知見 (DMOのノウハウ) を活かし、地域との目線合わせをし、行政と三位一体の地域づくりをめざします。

# 過去最高のにぎわいと、深まる地域の絆



## にぎわい創出

北地区夏まつりで最高レベルの  
の来場者を記録。



## ニーズへの応答

アンケートを活用し、満足  
度の高い事業（バスツアー  
ー、スマホ相談）を展開。



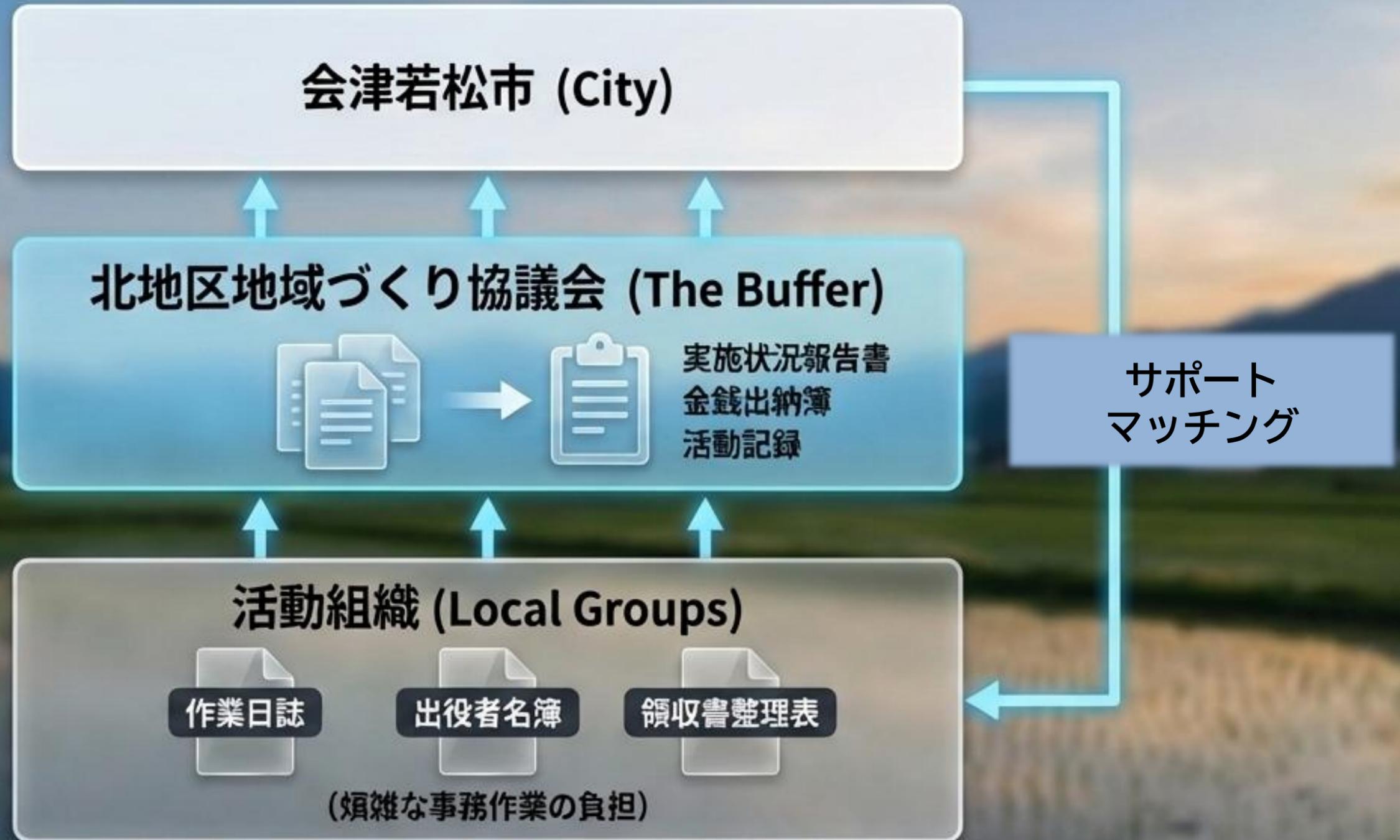
## 防災の「自分事化」

専門家を招き、地域防災の  
意識をアップデート。

# 2025年度 コミュニティ事業ポートフォリオ

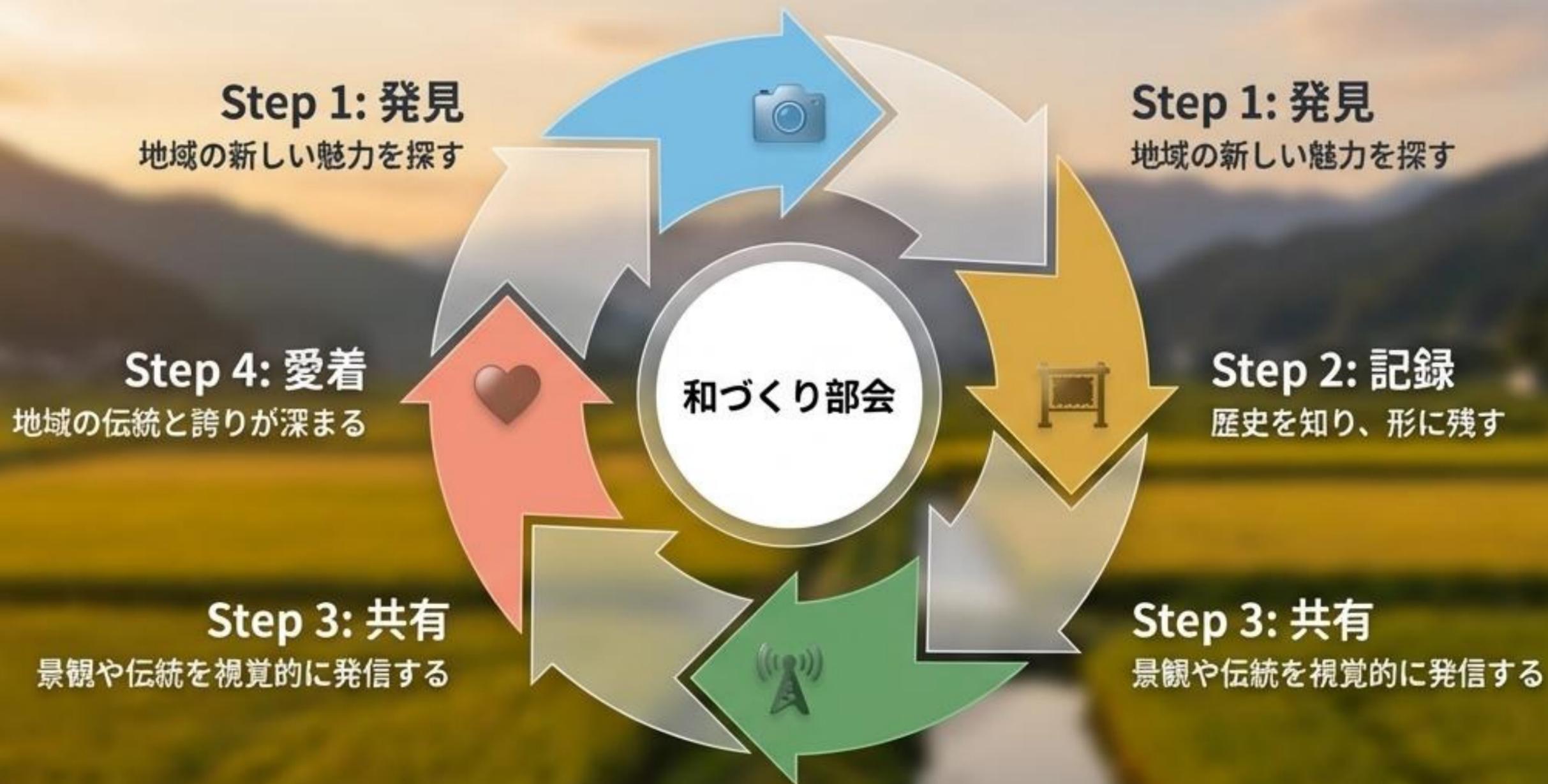
(主な事業)	部 会	ターゲット	提供価値	成果
北地区バスツアー	ふくふく絆部会	高齢者・交通弱者	外出促進・交流	参加者 <b>33</b> 名 満足度 <b>77.4%</b>
フォトコンテスト	和づくり部会	全世代	シビックプライドの醸成	応募総数 <b>103</b> 点
歴史看板設置	和づくり部会	地域住民	伝統の継承	新規 <b>2</b> 基 累計 <b>10</b> 基
地区防災講話	和づくり部会	全世代	防災の「自分事化」	参加者 <b>32</b> 名
スマホ相談会	ふくふく絆部会	デジタルに不慣れな方	情報格差の解消	参加者 <b>14</b> 名
夏まつり	<u>いな穂子育て部会</u>	全世代	地域の賑わいの創出	参加者 <b>329</b> 名

# 持続可能に地域活動を支える組織をめざす



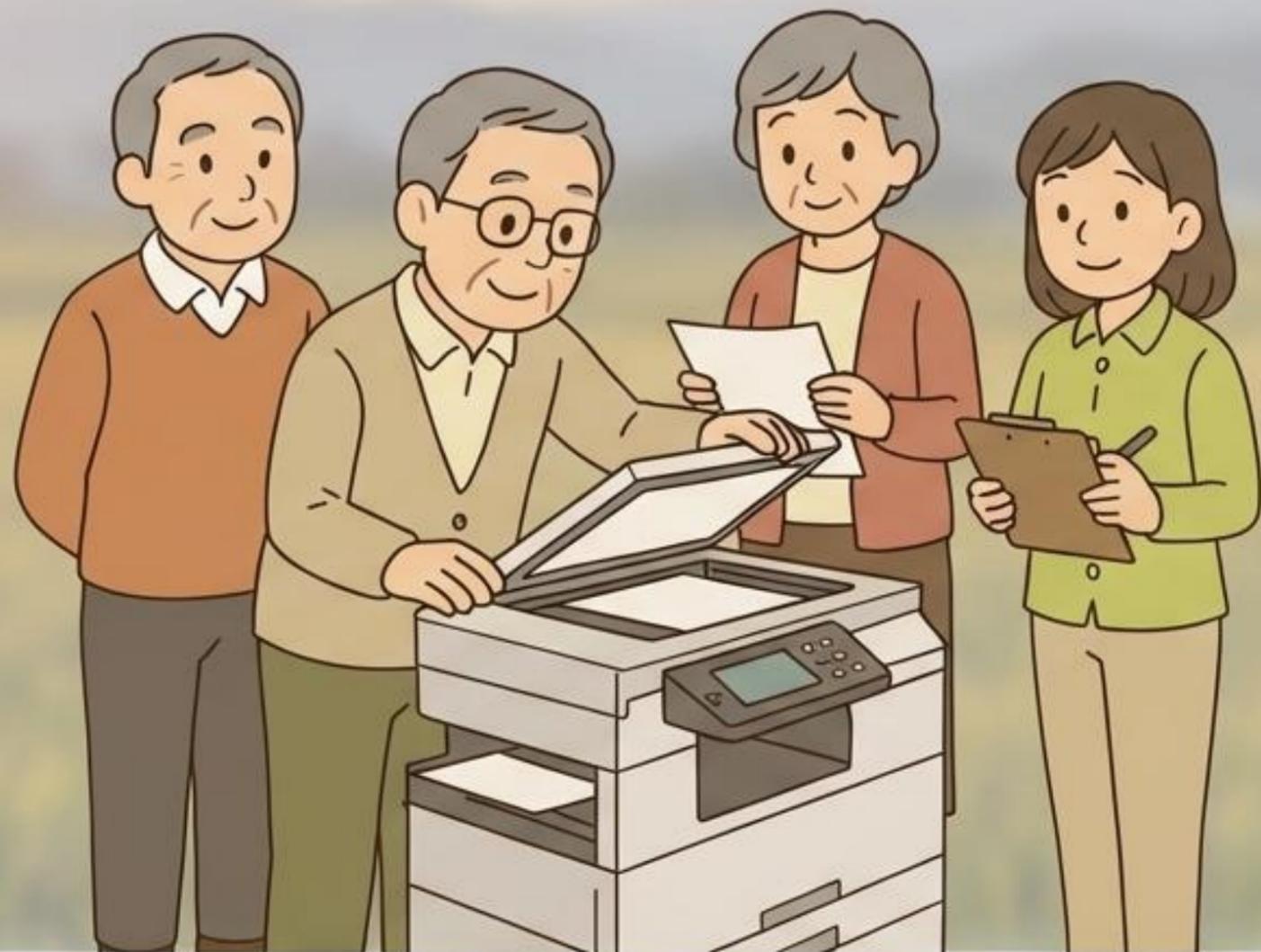
地域の事務サポートなど、縮小する地域団体のサポートしながら、持続可能な地域運営に貢献していく。

# シビックプライドを育む「和づくり」の好循環



和づくり部会は、単なるイベント開催ではなく、地域への「愛着（シビックプライド）」を永続的に高める仕組みづくりを行っています。

# 地域の事務負担を軽減する プリントサポート支援



## 15団体

利用登録団体（高野・町北区長会含む）

## 26,000枚

年間モノクロ印刷実績（カラー約600枚）

## 白黒5円 / カラー30円

低コストでのインフラ提供



【専用コード認証システム】 スタッフ不在時でも利用可能、地域活動のスピードを止めません。

# 街角に刻む記憶：広がる「地域内歴史看板」ネットワーク



## 森台地区 (New)

樋口光義の墓、蟻通稻荷神社など地域のルーツを解説。

## 達摩地区 (New)

「達磨堂」の由来や歴史の変遷を後世へ。

# 累計8基

高野地区・町北地区へ設置完了

# 北地区の「何気ない、ちょっと感動した風景」

応募総数  
**103点**

## 審査員講評 (Judge's Insights)

世代を超えた参加：  
高校生からシニアまで、幅広い視点  
での応募が集まりました。

4つの魅力の再発見：  
SL、磐梯山、田園風景、観音様。  
北地区ならではの美しい原風景が視覚  
化されました。



# 知識から「自分事」へ：地区防災講話のステップ

**1. 市ハザードマップ**  
汎用的な市のデータ

**2. 協議会  
ワークショップ**  
北地区特有のリスク  
(大川の氾濫想定)  
を特定

**3. 地区防災講話**  
2026年2月26日開  
催。阿賀川河川事  
務所の専門家を招聘  
(参加者32名)。



**4. 自分事化**  
住民一人ひとりの  
備えへ

汎用的な市のデータを、北地区特有のリスクに落とし込み、住民の「自分事」に変換しました。

## 『デジタル化の波をサポート』・『外出促進も促すバスツアー』も開催!!



主催: ふくふく絆部会

きめ細やかな個別対応

スマホ教室ではマンツーマン、バスツアーでは最寄りの集会場所などまでお出迎え。

### 実施実績

- ・7月（北公民館）：**33**名参加
  - ・3月（上高野・上荒久田）：計**14**名参加
- 合計**47**名の不安を解消

### インパクト

行政や生活のデジタル化が進む中、身近な場所で気軽に相談できる環境が、住民の安心感に直結しています。

# 交通弱者に寄り添う移動と交流：北地区バスツアー

日時：2025年11月5日

参加者：33名（マイクロバス2台）



送迎

各地区集会場への  
お迎え



見学

市役所新庁舎

交流

北会津健康センター  
(リンゴ園)

単なる観光ではなく、地域の集会場まで送迎することで、普段外出が難しい高齢者の「外出機会」と「交流の場」を創出しました。

# データが語る「地域のニーズと高い満足度」



# いな穂子育て：次世代の記憶と居場所をつくる



## 北地区夏まつり（8月2日）

ジャズオーケストラや民謡保存会とのコラボレーション。



## 北公民館DE自習室

テスト前や週末の学習スペース。高校生が中学生を教える「ナナメの関係」を構築。

# 地域の声を形に：データドリブンなコミュニティ運営

## 地域の声・課題

- ・「移動手段がなく外出が減った」
- ・「スマホが分からず不安」
- ・「補助金の事務作業が限界」

## 協議会のアクション

- ・送迎付き半日バスツアー
- ・身近な公民館での個別相談
- ・事務委託とコピー機開放

## 確かな成果

- ・満足度77%超・次回への期待
- ・計47名がデジタル不安を解消
- ・15団体が登録・活動に専念

2026年度へ。これからも、地域の声とともに。

今後も地域の声を大切にしながらニーズの把握に努め、  
行政との連携を図りつつ、地域課題の解決と  
住民同士のつながりを深める取組を進めていきます。

北地区地域づくり協議会では随時、会員・見学を募集しております。お気軽にご参加ください。